

平成27年度和歌山県文化奨励賞

ほりもと ゆうき
堀本 裕樹

住 所 東京都稲城市
出身地 和歌山県和歌山市
生 年 昭和49年

◎ 業績及び経歴

昭和49年和歌山市に生まれる。國學院大学在学中に鎌田東二師範の「國學院俳句」に入会し、19歳から作句を始める。出版社勤務、コピーライターを経て、角川春樹主宰の俳句結社「河」に参加。3年間編集長を務めた後、平成22年に独立。平成19年から4年間、尾道大学で句会を中心としたユニークな授業を行ったり、創作の傍ら、ビジネスマン対象の句会を開催したり、幅広い層へ俳句の楽しさや豊かさを伝えている。

また、バーやイベントスペースを舞台に、ゲストを招いて行う句会ライブ「HaikuBar」を開催したり、文筆家の千野帽子氏・芥川賞作家の長嶋有氏・ゲーム作家の米光一成氏とともに開催している公開句会「東京マッハ」は、毎回約200人を収容する会場において、チケット即完売という句会イベントとしては異例の成功を収めている。

平成24年に発行した「熊野曼陀羅」では、収録した全ての句で、自身にゆかりのある熊野を詠み尽くした。「那智の滝われ一滴のしづくなり」「万緑の木霊降りふる熊野かな」などの句が収められた本句集を熊野三山に参拝し奉納している。本句集により平成25年には俳人協会新人賞を受賞する。

文芸雑誌『すばる』では、平成24年10月号よりお笑い芸人の又吉直樹氏に俳句を教える講義スタイルの対談連載「ササる俳句 笑う俳句」をスタートさせる。そして、今年5月には、この連載をまとめた共著「芸人と俳人」を出版。若い世代に向けて俳句を届ける活動にも力を入れている。

氏の精力的な作句と俳句を広める活動は、今後もより一層の活躍が期待されている。

■ 現 在

実践女子大学生涯学習センター講師
池袋コミュニティ・カレッジ講師
日本学校俳句研究会顧問
俳人協会会員

◆ 主な表彰歴等

平成17年 第26回角川春樹賞
平成18年 河新人賞
平成19年 河賞
平成24年 第2回北斗賞
平成25年 第36回俳人協会新人賞
平成27年 第11回日本詩歌句随筆評論大賞